

格差ベアの永久的根絶をめざし、全組合員が立ち上がろう！

JR東労組東京地本闘争委員会

2018 1.24

東京地本闘争委員会FAXニュース

No. 4

労使フォーラム2日目開催

18春闘本格化！

労使交渉本格化 主張の違い鮮明



経団連の榊原定征会長と連合の神津里季生会長は二十三日、都内で会談し、春闘交渉が本格化した。安倍晋三首相が経済界に「3%以上」を要請する賃上げや「働き方改革」について、労使は必要性では一致しながらも、具体策では主張の違いが鮮明だ。

政府は今国会で、残業時間の上限を百時間とする法案や、高収入専門職を労働時間規制の対象外とする「高度プロフェッショナル制度」(脱時間給制度)の導入などの法案を提出する。会談では、脱時間給制度について経団連の榊原会長が「働きやすい新たな制度を提供する」と歓迎の意向を示したが、連合の神津会長は「制度を入れる必要はない」として反対を表明。残業時間上限の規制法案に関しては、連合側が残業

「ベア」対「年収ベース」賃上げについては、一致するものの賃上げの方法の対立点が明らかに！

1月24日 東京新聞

連合	経団連
賃上げ	
3%は一時金を含めずベアと定昇で実現	3%は社会的要請だが一時金を含めてもよい
残業時間削減	
減収分をベアで埋め合わせる必要	上限規制の強化は必要
脱時間給制度	
長時間労働容認につながり反対	働き方の選択肢が増え、導入が必要

一時金を含めた年収ベースでの賃上げ！

月給でないと、消費に結びつかない！

格差ベアを永久的に根絶するため
全組合員は総決起しよう！

我々が望んでいるのは、
年収ベースの賃金引き上げではない！
格差の無い、一律の定額ベアだ！

代が減る分について「ベア」スナップ(ベア)による埋め合わせが必要(神津会長)と求めているのに対し、経団連はベアでの還元には慎重だ。3%以上の賃上げについても一時金も含めた年収ベースで考えたとする経団連に対し、連合側は「月給でないと消費に結びつきにくい」として月給ベース構えた。での引き上げが必要という立場。定期昇給とベアを併せ4%の引き上げを求める